

# 地域・社会

## 次亜塩素酸ナトリウム活性水(活性水)の寄付

消毒・除菌に優れた効果を発揮する当社製の活性水を、埼玉県狭山市を通じて市内の15の小学校などに寄付しました。そのほか、本社近隣の日本点字図書館にも寄付しました。この活性水は、当社の製品である「次亜塩素酸ナトリウム活性化装置」で、次亜塩素酸ナトリウムと酢酸を安全に希釈混合して調整したものです。消毒・除菌剤が不足するなか、大変喜ばれました。また、子会社から山形県新庄市と岩手県遠野市にも寄付しました(P10参照)。



次亜塩素酸ナトリウム活性化装置



左から：小谷野狭山市長、山王小学校 家内校長 日本点字図書館

## 地域清掃活動への参加

本社のある高田馬場駅周辺地域の「ポイ捨て防止・路上喫煙禁止キャンペーン」に参加しています。地元商店会と住民、行政機関などが連携して美化・清掃活動を行うとともに、来街者などにきれいな街づくりへの協力を呼びかけることを目的として毎月実施しています。8月には新宿区のヒートアイランド現象や地球温暖化の対策のひとつである「新宿打ち水大作戦」にも参加しました。



打ち水大作戦

## J2サッカークラブ「モンテディオ山形」をサポート

「モンテディオ山形」は、山形県スポーツ界の活性化と新たなスポーツ風土の形成のために活動している「公益社団法人 山形県スポーツ振興21世紀協会」の中核となるクラブです。山形県との友好関係の維持・促進と、地域社会の活性化の一環として、正会員登録し応援しています。©MONTEDIO YAMAGATA



## 海外技術研修生の受け入れ

2019年度も国際石油・ガス協力機関(JCCP)、アジア大気汚染研究センター(ACAP)、JICA/北九州国際技術協力協会(KITA)の依頼を受け、海外からの技術研修生を受け入れました。また、ベトナムから昨年度の中部3省に続き、北部環境モニタリングセンターの関係者とベトナム海事大学の研修生も受け入れました。当社製品や品質管理に関する講習会、実機や施設の見学など、いずれも高い評価をいただいています。



## JAIMAサイエンスサマースクールに参画

毎年夏に行われる日本分析機器工業会(JAIMA)主催のサマーサイエンススクール(分析機器の体験実習)に今回も参画しました。この催しは、高校生を対象に分析機器の操作を実際に体験することで科学技術への関心を高めてもらうというもので、参加者は熱心に実習プログラムに取り組みました。



イオンクロマトグラフの実習を担当

## 献血活動を実施

赤十字血液センターと連携し、毎年本社および狭山テクニカルセンターで献血活動を実施しています。2019年度から山形東亜DKKでも始めました。



## TABLE FOR TWO 自販機を設置

狭山テクニカルセンターでは、寄付金付きのTABLE FOR TWO(TFT)自動販売機を7台設置し、開発途上の学校給食を支援しています。TFTは、開発途上の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む日本発の社会貢献活動です。



## チャリティウォークイベントに参加

明治安田生命があしなが育英会の協力で主催する「あしながMYウォーク」に当社も参加しました。親をなくした子どもたちの進学と心のケア支援を目的に、全国で開催されているイベントです。



## 山形東亜DKKの取り組み

山形東亜DKKは、当社の主要生産子会社として、部品組み立てから加工、調整、最終検査、出荷まで一貫体制で統合管理しています。ワークライフバランスも積極的に取り組んでおり、その成果が認められ、これまで「山形いきいき子育て応援企業」の優秀企業に認定されるなど、多くの表彰や認定を受けています。



### 会社見学・インターンシップの受け入れ

2019年度は、大蔵中学校の1年生3名、戸沢中学校の1年生9名がそれぞれ工場見学と取材に訪れました。インターンシップでは、真室川中学校3年生1名、新庄神室産業高校2年生2名を受け入れました。また、地元の高校生が自由な発想で社員にインタビューするという主旨で新庄北高校の生徒6名が来社され、インタビューを受けました。



### 新庄市に活性水を寄付

当社製の活性水（P9参照）を新庄市に寄付しました。こまめな消毒・除菌にお役立ていただいています。



山尾新庄市長（左）

### 省エネの取り組み推進

「一般財団法人 省エネルギーセンター」による電気と燃料（熱）の総合的な省エネ診断を受け、エネルギー管理状況などの把握に活用しています。今後の省エネ対策に役立てていきます。



省エネ診断結果説明会

## 岩手東亜DKKの取り組み

岩手東亜DKKは、高度なガラス加工などの技術が必要な電極を製造しており、独自の技能認定制度を設けて若手技術者の育成に注力しています。



### 会社見学・インターンシップの受け入れ

2019年度も遠野高校の1年生15名が訪れ、工場内を見学しました。また、インターンシップでも遠野高校の2年生2名を受け入れました。作業体験を通じて働く大変さ・楽しさを実感したようです。



### 遠野市に活性水を寄付

遠野市内の小中学校で消毒液が不足しているとの情報があり、当社製の活性水（P9参照）を寄付しました。「元気わらすっこセンター」にて本田遠野市長、菊池教育長に活性水をお渡ししたところ、急遽遠野小学校の子どもたちからお礼を述べたいとのことから小学校へ場所を移し、代表児童から感謝の気持ちを受け取りました。

※方言「わらすっこ」⇒「こども」



左から：  
遠野小学校 細川校長、  
菊池教育長、本田遠野市長

### 取締役へ聞く

#### 開発設計で製品の完成度を高め、品質の維持と生産の効率化を推進

岩手東亜DKK 取締役  
開発技術本部 センサ技術部  
センサ技術課 専任課長  
**金野 裕子**



30年にわたり数々の製品を開発。6月に技術・品質担当として子会社の取締役に就任。

#### 効率化を想定し、製品の完成度を高めて性能を保つ

岩手東亜DKKには優れた技能をもつ社員が多数おり、作業時間の短縮などの改善も進んでいます。品質を維持しつつ、効率を上げるには生産全体を見る必要があります。開発では、スムーズな生産をあらかじめ想定し、設計段階で製品の完成度を高めておくことで、品質・性能の保持を図っています。

#### 開発の考えや製品の価値を伝え、やりがいにつなげたい

生産を担う方々に開発者の考えや当社製品が世界の水分野で貢献していることを伝え、やりがいを共有したい。岩手東亜DKKは女性が多いので、子育てと仕事を両立させてきた自分の経験を活かし、コミュニケーションを深めていこうと思っています。

#### 後進の育成と働きやすい職場づくりに注力

開発と生産がお互いを知ることは、「もっといいモノづくり」につながります。生産の現場と連携した開発ができる人材を育てることも自分の役目です。熟練技能の維持、作業環境や安全面にも気を配りながら、働きやすい職場づくりの手助けができればと思います。

岩手東亜DKKで製造している電極

